

---

伝えたい…

紅

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

伝えたい…

### 【著者名】

N4730A

### 【作者名】

紅

### 【あらすじ】

僕は伝えたいことがある。しかし今日は卒業式伝えるのは今日しかない…はたして告白は成功するんだろうか…

僕は目覚ましが鳴る前に目が覚めた。

「とうとう今日で最後かあ～」

今日で高校生活が終わる…。

3年間長かったような…短かったような…そんな気持ちで今日が始まった…。僕は早めに学校に行くことにした。教室に入つてみるときれいに並べている机があつた。当然誰もいない…1人机に座り誰か来るのを待つていた。すると、

「…赤坂君来てたんだ早いね…おはよ…！」

いきなり大声で言われたので僕は机から落ちそうになつた。

「…なんだよ！委員長か…今日は来るの早いな…どうしたの？」

「私はいつもこのくらいだよ！赤坂君がいつも遅いだけだよ」

「そつか…委員長はすごいな」

実は僕は知つていた。

委員長が毎朝学校に早く来て花瓶の水をかえているのを。

僕は1年の時から委員長と同じクラスで委員長は一日欠かさず花瓶の水をかえていた。何故知つているかと言うと今日みたいに早起きした日に学校に行ってみると委員長が水をかえたり花が枯れてきたら新しいのを持ってきたりしていったのを見たことがある。僕は委員長のそんな所に少しずつ引かれてしまつた。

そして今日僕は委員長にこの気持ちを伝えたかつた。2人しかいなこの教室、僕は言つことを決意した。

「あのさ…委員長…」

「何～？」

「あの…その…今日の花きれいだね

やつぱり言えない。言葉がでない。

「ありがとう。けど今日で最後なんだよね…だからできるだけ枯れないでほしいなあつて思つて…」

やさしいなあ～委員長…僕はそんな所に惚れてしまつたんだなあ～。  
やつぱり告白しないと…後悔しないよう…」。

「委員長伝えたい事があるんだ」

「どうしたの？急に改まつて！？」

心臓がドキドキする…。

「…あの…僕…委員長の事が好きなんだ。今も…そして…これからも」

…言えた。周りの人に僕の心臓の音が聞こえるくらいドキドキしている。

「…私も好きだつたよ。赤坂君がいつもクラスで元氣で明るいところが1年生の時から好きだつたんだ。私も伝えたかつたんだけど恥ずかしくて言えなかつた…。けど聞けてよかつた高校生は今日で終わるけどこれからはいっぱい遊ぼうね」

僕はうれしさのあまり机から落ちてしまつた。委員長が小声で『バカッ』と笑いながら言われた。こうして僕は告白できた。なんとか成功という感じに終わつたが伝えることができて本当によかつた。

(後書き)

委員長の名前は.....秘密です。感想お待ちしています。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4730a/>

---

伝えたい…

2011年1月19日16時02分発行